

中村

発行 中村会 (愛知県立中村高等学校同窓会)



中村高校 創立70周年を迎える!
令和4年10月28日(金) 母校体育館にて記念式典挙行
詳しくは「創立70周年特集」2ページへ



中村会会員の皆様 お元気ですか。

令和2・3年度 中村会会長 木村 一郎



中村会会員の皆様、新型コロナ禍でもお元気で
お過ごしのことと推察いたします。新型コロナウ
イルスは、2019年12月に発見されて以来、いまだに世界各地で猛威を振
るっています。医療の専門家によるワクチンや治療薬の開発が進む中、コ
ロナウイルスも私たちの感染対策をあざ笑うかのように変異を重ねたに
オミクロン株となって人々を苦しめています。そのような中、昨年7月、
日本では東京オリンピックが開催され、世界各地から多くのアスリートが
日本を訪れました。国民は、日本のゴールドラッシュに沸きました。一方、
東北地方を襲った未曾有の大災害から10年が経過し、未だに避難生活を余
儀なくされている方が多くいらっしゃることもメディアを通じて知ら
れました。オリンピックの華やかなイベントでもひっそりと避難所での
生活も主役となるのは「人」です。人が幸せを感じるためには、かの宮沢
賢治の農業文化論概説にあるように世界全体が幸福でなければなりません。
一人ひとりがお互いを思いやり、支えあうことで幸福を感じる心のあ
りようが少しずつ広がっていくように思います。

さて、中村会の活動も新型コロナウイルスの影響で総会をはじめ様々
な活動を自粛せざるを得ませんでした。事務局の方々のご尽力により、
年間5回の役員会の場でできる限りの活動、母校に対する支援、中村会
そのものの運営を展開することができました。事務局の皆様、役員の皆
様に感謝いたします。これまでの自分を振り返ってみますと、高校卒業
と同時に同窓会に入会しましたが、同窓会の活動に関してほとんど関心
がなく、様々な行事に対しても他人事のように見ていました。自分自身
が今の会長の職に就いたことで、やっと同窓会であるという認識を持ちま
した。これまでの各役員の皆様、事務局の皆様には大変申し訳なく存じ
ます。また、同窓会の活動や会に関する情報をより多くの同窓生に届け
られるように工夫を凝らす必要があると感じました。中村高校を卒業し
た方々の中に多くのすばらしい人がいらっしゃいます。その方々につい
ては会報や同窓会のホームページで紹介されています。ただ、同窓生が
その情報を手に入れようと意識するか。このことがこれからの役員会の
課題と考えます。この会報が皆様のお手元に届くころには、コロナウイ
ルスのオミクロン株も進化していると思いますが、私たちもいつまでも
じっと耐えているだけにはまいりません。コロナに負けない対策を講
じ、人と人のつながりを大切に、そのつながりを広げていかなければ
ならないと考えます。「中村会」の活動はもとより、わが母校の教育活
動が大いに盛り上がりますよう、会員の皆様のご支援ご協力をお願いして
会報の冒頭のご挨拶とさせていただきます。

第67回生の卒業に あたり

愛知県立中村高等学校長 小川 芳範



同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動
について深い御理解と多大な御支援をいた
だき、誠にありがとうございます。

皆様のご支援のお蔭で、日日の学習活動に加え、部活動や国際交流事
業などの教育活動に取り組むことができます。しかし、新型コロナウイルス
感染拡大にともない、満足に活動ができないのも現実です。このような中
ですが、高校総体予選においては、ラグビー部が愛知みずほ高校との合同
チームで10人制部門の県大会で優勝しました。また夏には、創作ダンス部
が全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸において、本選に勝ち残り
入賞しています。

今年度の大きな話題としては、3年目を迎えた国際理解コース2年生
の高須桃梨さんが、外務省、(公財)日本国際連合協会主催の第68回国
際理解・国際協力のための高校生主張コンクールにおいて、特賞の外
務大臣賞を受賞しました。本県からの特賞は昭和51年(1976)以来の快
挙です。本来、特賞の生徒はニューヨークの国際連合本部における研修
プログラムに参加するのですが、コロナ禍にともない過去2年は中止と
なっています。今年度は3月末に東京において研修プログラムが開催予
定となっており、参加できるよう祈っています。

近年、本県中学生の進学希望の傾向が大きく変化しています。私学助
成制度が整備されたこともあり、県立高校離れが止まりません。名門中
村と呼ばれた本校も例外ではありません。

今後の高等学校には、各校において特色・魅力ある教育を行い、生徒
一人一人が主体的に学びに取組むことを支援していくことが求められ
ています。本校では、継続的に取組む国際交流事業や国際理解コースの
教育活動を通して、国際的な視野を備え、国際社会の発展に寄与しよ
うとする生徒を育成し、実績を積みあげています。今後は、「育成を目指す
資質・能力」「特色ある学び」「入学を期待する生徒像」を明確化し、校
内外への共有・浸透を十分に行ってまいります。

同窓会の皆様のみならずの御活躍を祈念申し上げますとともに、母校
の発展のために一層の御理解と御支援をお願いいたします。

愛知県立中村高等学校 創立70周年記念式典

令和4年度に、私たちの母校は創立70周年を迎えます。コロナ禍の中、盛大にお祝いすることもできませんが、母校体育館にて記念式典を挙行政します。

期日 令和4年10月28日(金) 午後
会場 愛知県立中村高等学校 体育館
講演 式典後、講演会を行います
講師 日色 保 (ひいろ たもつ) さん 中村高校29回生
現 日本マクドナルドホールディングス 代表取締役社長
兼 最高経営責任者 (CEO)



演題 現時点では未定です

全校生徒が参加予定ですが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、生徒は各教室でオンラインでの参加となることもあります。

また、同窓生については校舎内の教室でのオンライン参加を検討していますが、感染状況によってはご遠慮いただくこともあります。

式典の詳細につきましては、今後ホームページ等で順次アップしていく予定です。



総会・講演会の御案内

日時 令和4年5月22日(日) 10:00~11:30
会場 ルブラ王山 (地下鉄東山線「池下」駅下車、東へ徒歩3分)
名古屋市千種区覚王山通8-18
電話 052-762-3151
次第 受付 9:30~10:00
総会 10:00~10:30
(事業報告・会計報告、事業計画案・予算案等について)

講演会 10:30~11:30
(講師:45回生 日本ヨーヨー連盟代表理事 三居弘典氏)
会費 無料
申込 出席の場合は、同封のハガキまたはメールにより、令和4年4月22日(金)までに事務局までご連絡ください。
欠席の場合は連絡の必要はありません。



令和元年の懇親会 また開催できることを祈って

◎講演会の講師は、令和元年度の中村未来塾で講演いただいた、三居弘典さん(45回生)。2000年ヨーヨー世界チャンピオンで、高校時代からヨーヨーに魅せられ、海外にも挑戦されたご経験から講演をいただきます。2年連続講演会が中止となり、満を持しての御登場となるはずですが、世界レベルのヨーヨーの実演もきっと…?



◎懇親会につきましては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、本年度は中止とさせていただきます。

同期会報告

65回生 成人パーティー

令和4年1月7日(金)に神戸館にて65回生70人で成人パーティーを行うことが出来ました。離れ離れになってしまい久しく会っていない友人達に会うことができ、皆それぞれ学生も社会人も色々なことに努力している話を聞き、刺激になりました。

また何年後かに集まって、みんなの笑顔を見られることを楽しみにしています。

(65回生 内山 宗蔵さん)



令和2年度事業報告

◆令和2年度 中村会 役員

会 長 木村 一郎 (18回生)
 副 会 長 太田 守彦 (22回生 財務担当)
 高木 靖之 (26回生 総務担当)
 丹後 茂 (29回生 広報担当)
 事務局長 佐野 好宏 (30回生)
 会 計 江口 基 (42回生)
 監 査 水野 圭爾 (26回生)
 伊藤 太亮 (45回生)

◆令和2年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第18号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 運営業務の効率化
- 11 70周年に向けての準備

令和2年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位:円)

科 目	予算額①	執行額②	差額②-①	備 考
前年度繰越金	4,084,202	4,084,202	0	
入 会 金	1,550,500	1,550,000	-5,000	卒業生310名×5,000円
雑 収 入	298	0	-298	
計	5,639,500	5,634,202	-5,298	

支出の部 (単位:円)

科 目	予算額④	執行額⑤	差額④-⑤	備 考
事 業 費	100,000	0	100,000	
HP 運営費	350,000	329,538	20,462	プロバイダー (ASAHI ネット12ヶ月分) 管理改修費 22,000×12ヶ月
通 信 費	600,000	602,540	-2,540	料金後納、会報発送・はがき等印刷・諸作業
会 報 費	400,000	228,800	171,200	会報18号印刷
総会施設費	0	0	0	(総会を実施しなかったため)
名簿管理費	180,000	220,000	-40,000	データ管理、データ出力
諸 雑 費	10,000	4,950	5,050	振込手数料
慶 弔 費	40,000	0	40,000	
会 議 費	10,000	6,581	3,419	会議飲料代等
予 備 費	100,000	0	100,000	
繰 越 金	3,849,500	0	3,849,500	
計	5,639,500	1,392,409	4,247,091	

残高の部 (単位:円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
5,634,202	1,392,409	4,241,793

令和3年度事業計画

◆令和3年度 中村会 役員

会 長 木村 一郎 (18回生)
 副 会 長 太田 守彦 (22回生 財務担当)
 高木 靖之 (26回生 総務担当)
 丹後 茂 (29回生 広報担当)
 事務局長 山口有里子 (36回生)
 会 計 門口 賢司 (27回生)
 江口 基 (42回生)
 監 査 水野 圭爾 (26回生)
 伊藤 太亮 (45回生)

◆令和3年度 中村会 事業計画

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第19号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 運営業務の効率化
- 12 70周年に向けての準備

令和3年度 中村会 予算

収入の部 (単位:円)

科 目	予算額	備 考
前年度繰越金	4,241,793	
入 会 金	1,560,000	5,000円×312名 (R3年度 第3学年 67回生 4月時在籍数)
雑 収 入	207	
計	5,802,000	

支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	備 考
事 業 費	100,000	奨学金
HP 運 営 費	350,000	HP メンテナンス料金等
通 信 費	20,000	料金後納 郵送費等
会 報 費	900,000	会報19号印刷、会報発送関連費 (発送費・封筒・ハガキ作成・諸作業等)
総 会 施 設 費	0	総会会場使用料 (総会中止のため)
名 簿 管 理 費	250,000	新規入力、変更、削除
諸 雑 費	10,000	振込手数料
慶 弔 費	40,000	
会 議 費	10,000	役員会
予 備 費	100,000	
繰 越 金	4,022,000	
計	5,802,000	

第27回 「科学っておもしろい！」

令和3年11月29日（月） 中村高校体育館 山田 吉孝さん（27回生）
（名古屋市科学館学芸員）

科学館の閉館時間、ゲリラ豪雨で帰宅できなくなった来館者に急遽ロビーでサイエンスショーを実施し「神対応の学芸員」として話題となった方です。

日頃のサイエンスショーで磨かれた巧みな話術で、つかみの手遊びから生徒たちは「えっ？ どうして？」からの「あっ、そうか！」「なんだ～（笑）」と盛り上がりました。

そして、恐ろしい物質「一酸化二水素」について。地球温暖化や地形の浸食、車のブレーキ性能の低下、さらには多くの人を死に追いやるような物質が現在も河川に垂れ流されている現状。なんだか恐ろしさに心拍数が上がってしまいました。……いやいや待てよ、「一酸化=O、二水素=H₂??、H₂O！」。実際にアメリカではSNSで発信されたこのジョークから「一酸化二水素の規制を！」という動きまで起こったのだそうです。

「これからの世の中では、疑わしい情報にだまされることが増えてくる。しかし、科学の知識でそのウソを見抜いていく力を付けて欲しい」と生徒に分かりやすく伝えていただきました。

科学の歴史をターレス、アリストテレス、ガリレオ・ガリレイ、ニュートンといった私たちでもよく知る偉人の言葉と共に紹介していただきました。そして科学とは「世界を理解し、説明しようとする営みである」と、学芸員の仕事を通して皆さんに伝えておられる山田さん。ご自身の高校時代や大学受験のお話も含め、アカデミックで和やかな雰囲気の中ご講演をいただきました。



未来塾のあゆみ

中村高校同窓会創立50周年を機に始められた「中村未来塾」も今年度で27回を数えることとなりました。令和4年度に中村高校創立70周年を迎え、その3年後には同窓会創立70周年となります。これまでの未来塾のあゆみを振り返るとともに、その意義について改めて考えてみたいと思います。

「中村未来塾」は当初「土曜教養講座」と冠し、学校休業日の土曜日に在校生だけでなく、PTA、同窓生、職員から参加希望者を募り開催されていました。第1回（平成17年10月29日）は21回生である大阪地検特捜部副部長・城祐一郎さんを講師として招いて開催、在校生、PTA、同窓生、職員合わせて78名が参加しています。



第7回 山本益司さん

続く平成18・19年度は学期に1回、土曜日に希望者を募っての開催でした。母校会議室を会場に開催されることが多かったのですが、第7回（平成19年10月20日）の29回生、御菓子司「松葉堂」店主・山本益司さんの講演は調理室を会場に和菓子作りを体験しながらという一風変わった形式でした。

第9回（平成20年10月31日）の14回生、作家の内藤洋子さんの講演を初めて1年生全員を対象に行うため、金曜日の開催となりました。この年以降、年2回開催のうち1回は金曜に1年生全員を対象に開催する形式が5年間続きました。



第19回 石黒不二代さん

平成25年度の第19回（平成26年2月7日）の21回生、ネットイヤー（株）CEO・石黒不二代さんの講演から年1回1年生対象の形に落ち着き、ここ数年は1・2年生が対象と参加人数が増えています。

このように学校側のニーズ等もあり、形式こそ変化しつつも同窓生が熱い想いを後輩に伝えることのできる大切な場であることは創設当初から変わりありません。今後も後輩たちの未来を明るく照らすべく、同窓生からのエールを送り続けていきたいと思



記念すべき第1回



第9回 内藤洋子さん

毎年講師の人は役員会等で行っていますが、まだまだ隠れた人材が同窓生の中にはたくさん埋もれていることと推察できます。自薦・他薦を問わず、熱い想いをぜひ後輩へ伝えたい、という方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡をお待ちしています。（講師の役職等は、講演当時のものです）

■学校祭

令和3年度は、在校生一同が待ち望んでいた2年ぶりの学校祭が実施されました。



体育祭【令和3年9月2日（木）】は熱中症対策を配慮して今年から愛知県体育館！ 観客席に一つ空けて座ったり、競技で使った器具やバトンをその度に消毒したりして、コロナ対策は万全でした。外の雨模様には全く関係なく、障害物リレーやブロック対抗リレー、大縄跳び、借り物競争、ブロックパフォーマンスなどで熱戦を繰り広げ、後輩たちは最高のパフォーマンスをしてくれました。



文化祭【令和3年9月9日（木）～11日（土）】では、久しぶりに前夜祭が復活、有志が歌や漫才、ダンスなどを披露してオープニングに相応しい盛り上がりとなりました。文化祭へ

の参加は密を避けるため、教室の出し物を回る組と、体育館での発表を見る組の二手に分かれました。教室で実施していた3年生の劇も今年は武道場を使用しました。クラスや部活動のクオリティの高い発表は文化祭を盛り上げたいという情熱そのものでした。



コロナ対策で苦勞が多い中でしたが、全員が協力し合い、全力で取り組み、大いに楽しんだ本年度の学校祭は青春時代の思い出に深く残るものとなりました。

■修学旅行・遠足

本来ならば、今年度より5月に沖縄方面へ向かうはずだった2年生の修学旅行、新型コロナの影響で10月に延期になりました。行き先が高山・金沢方面に変更され、一泊二日【令和3年10月12日（火）～13日（水）】に日程も短縮されました。それでも後輩たちは行く先々の自然や文化に触れて、交友を大いに深める思い出深い二日間になりました。



なお、別の日を利用して、沖縄についてのオンライン修学旅行が校内で実施されました。

また一年生の遠足が【令和3年10月8日（金）】に実施され、日間賀島、名古屋港水族館、南知多グリーンパレーの三ヶ所にクラス毎で分散して実施、クラスの絆を深めることができました。

■日越祭 in Nakamura 令和3年12月21日（火）



1年国際理解コース生が、第2回日越祭を行いました。日越祭は、新型コロナウイルスの影響で予定していたベトナム研修旅行が中止となってしまったため、その代替行事として昨年度はじめて行われました。体験的な活動を通して、ベトナムの文化や歴史、言語についての理解を深めることが目的です。



ベトナム人留学生団体「バロネット」のみなさんのご協力により、10人の留学生・社会人の方が来校し生徒と交流しました。日本語・ベトナム語の学習、プレゼンテーションと意見交換、バンブーダンス、英語のディスカッションなどを通して異文化理解を深めることができました。また、今回は同窓生の田中和生さん（34回生）のご紹介で、ベトナムキッチン「アンヴィエット」さん（名古屋市千種区吹上）のキッチンカーが来てくださることとなり、ベトナム料理のフォーとバインミーの昼食をいただくことができました。



生徒はすぐにベトナムの方々と打ち解け、一緒に楽しみながら多くのことを学び、実りある1日を過ごすことができました。



ホームページ リニューアル!

新 URL <https://www.nakamurakai.jp/>

この度、中村会のホームページをリニューアルいたしました。URL も変更になりましたので、登録をよろしくお願いたします。

母校の様子や会員の皆様の情報を、今まで以上にタイムリーに発信していきたいと思ひます。事務局への連絡も HP からメールで送れますので、皆様からの情報もお待ちしています。

中村会の facebook ページ (下段に記載あり) とともに、今後ともよろしくお願いたします。



■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948

中村高校同窓会 賛助会費

※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の2種類の振込用紙(郵便局に加えてコンビニでの納入も可能になりました)をご利用頂き、上記の口座へ納入をお願いいたします。

●賛助会費収支状況(令和2年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
2,506,142	352,000	27,010	2,831,132

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局

TEL: 052-411-7760 (中村高校)

FAX: 052-413-5357 (中村高校)

E-mail: Web ページからご連絡ください。

■中村会ホームページ

<https://www.nakamurakai.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>

■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者および卒業回生の下一ケタを基準に5年に1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号は下一ケタが「2」「7」の回生が対象で、次号は「3」「8」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

●英気の泉 募金入金先

三菱UFJ銀行柳橋支店 普通4709739

英気の泉 萩原義昭

※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないように皆様のご厚志をよろしくお願いたします。

●「英気の泉」収支状況(令和2年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
1,342,472	481,675	416,600	1,407,547

●令和2年度援助事業

部室改築費	386,600円
中村ダンスフェスティバル開催御祝	30,000円

●令和2年度寄付者等(敬称略)

岡田順一様(元校長)、萩原義昭様(10回生)、カネコヒロシ様、ハッタシュウイチ様、匿名希望